

別表

日本語初期指導支援事業（オンライン日本語初期指導講座）に係る業務委託プロポーザル 評価基準

1 評価の方法について

企画提案の内容・実施能力等に関する評価

【合計点】（100点）＝【指導実績・理解】（20点）＋【実施体制・計画等】（45点）＋【実現可能性】（30点）＋【社会的課題への取組み】（5点）

2 採点について

下記の評価項目及び評価内容に基づき採点する。（100点）

評価項目		得点	評価基準
指導実績・理解	1 本業務に対する理解、実施方針 ・本業務について理解しているか。 ・国の動向や教育の取り巻く環境を踏まえているか。 ・企業・団体として日本語指導のビジョンは明確か。	10点	特に優れている
		7点	優れている
		3点	理解・ビジョンが十分とは認められない
		0点	理解・ビジョンが明確でない
	2 本業務に係る実績 ・日本語指導若しくは学習指導等の実績が認められるか。 ・外国人児童生徒等を対象とした日本語初期指導に係る事業実績が認められるか。	10点	特に優れている
		7点	優れている
		3点	実績が十分とは認められない
		0点	実績が認められない
小計		20点満点	

評価項目		得点	評価基準
実施体制・計画等	3 実施体制 ・過去の実績やノウハウ、専門性を発揮し、かつ、実現可能な実施体制であるか。 ・県教育委員会と協力・連携して、柔軟かつ誠実に対応ができる体制であるか。 ・担当者が明確であり、実施校との連携を図りながら実施できる体制か。 ・受講後アンケートの結果を受けて、改善を通して成果の反映が見込めるか。	15点	特に優れている
		10点	優れている
		5点	体制が十分とは認められない
		0点	体制が明確でない
	4 実施計画 ・受講申請の募集・集約を経て、受講決定までの実施校との連絡体制が確立しているか。 ・事前面談から受講者決定、講座開始までのスケジュール等、実現可能な実施計画であるか。 ・日本語初期指導の実施に際し、独自の指導計画により実施ができるか。 ・講師一人あたりの受講生の数やコース数の設定は適切か。	15点	特に優れている
		10点	優れている
		5点	計画が十分とは認められない
		0点	計画に著しい不備がある
	5 見積額	価格点の上限<10点>－{(見積額/委託費の上限)×価格点の上限<10点>} ※小数点以下第1位を四捨五入とする。	
	6 提案者の資質 ・説明が分かりやすく、具体性、質疑応答に対する応答力があるか。 ・意欲が強く感じられ、質問に対する応答が明快であるか。	5点	特に優れている
		3点	優れている
		1点	資質が十分とは認められない
		0点	対応・応答が十分ではない
	小計		45点満点

評価項目		得点	評価基準
実現可能性	7 指導者について ・日本語指導を講師に任せきりにせず、共通理解や情報共有ができる体制があるか。 ・日本語指導の講師を確実に確保できる提案であるか。 ・日本語指導の講師の資格（登録日本語教員（国家資格）等）や実績はあるか。	20点	特に優れている
		14点	優れている
		6点	十分とは認められない
		0点	十分ではない
	8 日本語指導の実施について ・事前面談により、受講生の学齢や個の状況に応じて適切な指導を行う体制があるか。 ・使用教材の提案があり、オンライン指導に効果的な活用方法が明確であるか。 ・話す、聞くに重点を置いた、双方向のやりとりを重視した指導体制があるか。	10点	特に優れている
		7点	優れている
		3点	十分とは認められない
		0点	十分ではない
小計		30点満点	

評価項目		得点	評価基準
社会的課題への取組み	9 ・「環境面の取組み」（1点）、「社会面の取組み（障がい者雇用）」（1点）、「経済面の取組み」（1点）といったSDGsの三側面への取組みがなされているか。 ・ぎふSDGs推進パートナー登録制度への登録しているか。（最大2点）	5点	評価項目に応じて加算
		3点	
		1点	
		0点	
小計		5点満点	